

須高行政事務組合施設総合管理計画 個別計画

☆基本方針(総合管理計画からの抜粋)

- 長期的視点に立って更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行う。
- 構成市町村の財政負担を軽減・平準化し、効率的・効果的な行政サービスの提供に資する。

2021年4月1日版
須高行政事務組合

「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」(平成26年(2014年)4月22日付総財務第74号総務大臣通知)により、公共施設等総合管理計画策定の要請を受け、須高行政事務組合では令和3年(2021年)4月1日付で、須高行政事務組合の公共施設等全体に対する方針として「須高行政事務組合公共施設等総合管理計画」を策定しました。

総務大臣通知の策定要請では、地方公共団体においても個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)を策定すること及びこれらの計画に基づき点検等を実施した上で適切な措置を講じることを期待することから、須高行政事務組合は、公共施設等全体に対する方針に基づき、施設区分ごとの個別計画を策定することとし、策定作業を随時進めております。

本計画は、各用途区分の作成日(各ページの右上記載)における2025年度までの個別計画を示したものです。公共施設等総合管理計画とあわせてご確認ください。

松川苑

○施設用途

- ・火葬場

○施設の位置付け、方針

- ・故人との最後のお別れにふさわしい場

○施設利用状況（件数/年間日数）

- ・2015年度 829件（2.27件/日）
- ・2019年度 846件（2.31件/日）
- ・2025年度（予測） 860件（2.36件/日）

○年間使用料収入

- ・2015年度 13,754,000円
- ・2019年度 13,964,000円
- ・2025年度（予測） 14,050,000円

○年間維持管理支出（支出/年間件数）

- ・2015年度 28,345,989円（34,193円/件）
- ・2019年度 32,838,225円（38,816円/件）
- ・2025年度（予測） 31,705,000円（36,866円/件）

○課題

- ・火葬件数の大幅な増加または減少への対応
- ・火葬炉本体の更新時期の検討

○今後の方針

●施設の存廃

- ・計画期間（～2025年度）内での施設廃止は行わない。

●維持管理方針

- ・現状の火葬件数であれば、火葬炉の増設といった大規模改修は行わず、必要最小限の機能を維持したうえで、事業を継続させる。
- ・火葬炉の劣化等の診断には専門的な知識が必要なため、年1回の民間委託による点検を実施し、劣化度に応じた計画的な修繕を実施する。
- ・修繕計画については、火葬業務委託業者と日常点検の結果等を基に相談し、劣化度に応じて策定する。
また、単純な工事費の比較だけでなく、維持管理経費を含めた長期的な視点による検討をする。
- ・今後の施設のあり方・施設機能がどうあるべきか検討する。

●賢くつかう工夫

- ・利用者の満足度を高めるため、火葬以外に提供できる役務等について、火葬業務委託業者等と検討する。

須高休日緊急診療所（廃止済）

○施設用途

- ・一次救急診療

○施設の位置付け、方針

- ・休日及び夜間における急病患者の診療
- ・診療所は廃止済み。
- ・長野県立信州医療センター内で、診療室として事業を継続している。

○今後の方針

●施設の存廃

- ・計画期間（～2025年度）内での施設廃止は行わない。

●維持管理方針

- ・建物は耐用年数を過ぎており、かつ、ほかで有効利用できる可能性も低いことから、建物の解体を含めて、今後のあり方を検討する。
- ・建物は、須高医師会館の一部となっているため、医師会と相談しながら、検討を行う。

須高衛生センター

○施設用途

- ・し尿処理（前処理+希釈+下水道放流）

○施設の位置付け、方針

- ・環境衛生施設の整備

○施設利用状況（処理量/年間日数）

- ・2015年度 11,199.8 kl（30.6 kl/日）
- ・2019年度 7,656.4 kl（20.9 kl/日）
- ・2025年度（予測） 5,329.0 kl（14.6 kl/日）

○年間投入手数料収入

- ・2015年度 13,442,737 円
- ・2019年度 9,274,994 円
- ・2025年度（予測） 6,513,222 円

○年間維持管理支出（投入手数料/支出）

- ・2015年度 93,072,040 円（14.4%）
- ・2019年度 105,898,657 円（8.76%）
- ・2025年度（予測） 107,778,000 円（6.04%）

○課題

- ・投入量の減少に沿った施設への更新。
- ・浄化槽汚泥割合の増加への対応

○今後の方針

●施設の存廃

- ・計画期間（～2025年度）内での施設廃止は行わない。

●維持管理方針

- ・投入量は年々減少傾向にあるため、その投入量に応じて不要な施設を休止または縮小しながら、必要最小限の機能を維持したうえで、事業を継続させる。
- ・機器の突発的な故障や配管の閉塞などにより長期間施設の運転ができなくならないようにし、また投入量の減少に沿った施設へと移行する準備として、放流ポンプの増設等を計画する。
- ・運転管理委託業者による日常的な定期点検を行い、経年劣化等による破損個所を逐次補修・整備する。
- ・修繕計画については、運転管理委託業者と日常点検の結果等を基に相談し、劣化度に応じて策定する。
また、単純な工事費の比較だけでなく、維持管理経費を含めた長期的な視点で検討する。
- ・今後の施設のあり方・施設機能がどうあるべきか検討する。

●賢くつかう工夫

- ・設備の解体等で生じた空き空間について、防災用品の備蓄等の利用を推進する。

サマーランド

2021年4月1日作成

○施設用途

- ・総合プール

○施設の位置付け、方針

- ・住民の健康増進と親水に寄与する。

○施設利用状況（入場者数/開場日数）

- ・2015年度 41,376人（637人/日）
- ・2019年度 34,828人（536人/日）
- ・2025年度（予測） 39,500人（608人/日）

○年間使用料収入

- ・2015年度 11,728,850円
- ・2019年度 9,266,900円
- ・2025年度（予測） 10,619,700円

○年間維持管理支出（使用料/支出）

- ・2015年度 40,185,714円（29.2%）
- ・2019年度 38,616,709円（24.0%）
- ・2025年度（予測） 29,816,000円（35.6%）

○課題

- ・感染症対策と誘客の両立。
- ・安全対策

○今後の方針

●施設の存廃

- ・計画期間（～2025年度）内での施設廃止は行わない。

●維持管理方針

- ・地元住民ほかに愛されている施設であり、利用料金の安さも施設の大きな魅力であるため、必要最小限の機能を維持したうえで、事業を継続させる。
- ・指定管理業者による日常的な定期点検を行い、経年劣化等による破損箇所を逐次補修・整備する。
- ・修繕計画については、機器の設計施工業者と日常点検の結果等を基に相談し、劣化度に応じて策定する。
また、単純な工事費の比較だけでなく、維持管理経費を含めた長期的な視点で検討する。
- ・今後の施設のあり方・施設機能がどうあるべきか検討する。
- ・スライダーについて、点検委託業者からの更新時期が近づいているという意見に基づき、次期個別計画に計上するための検討を進める。

●賢くつかう工夫

- ・利用者の声などを参考にし、指定管理者とも相談しながら、イベントなどの誘客対策、利用者の満足度を高める方策の検討及び施設の見直しを行う。

